

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	議会事務管理事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		主管課	議会事務局				
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課長	玉田 雅則				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市議会議員及び市民	意図	議長渉外事務や議員等の議会活動の円滑化を図る。
事業内容	本市議会への視察受け入れ、議会に関する予算の執行及び議員報酬等の支払いなど、議会庶務に関する事業を行っている。			
事業開始から現在までの状況変化	各市議会からの視察の受け入れを行っている。また、議長交際費については、支出対象を極力必要最小限度の事象に留め、ホームページで公開している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	視察受け入れ件数	50	11	26	件	→→	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 視察受け入れについては、火曜日と木曜日に限定して受け入れを行っている。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		11,294,101	10,452,582	10,533,871				
事業費(b)(円)		3,288,101	1,826,582	2,549,871				
うち一般財源		3,288,101	1,826,582	2,549,871				
職員給与費(c)(円)		8,006,000	8,626,000	7,984,000				
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		1.00	1.00	1.00				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	視察の受け入れ期間、ホームページでの受付案内など、運用上のルールを定めて視察受け入れを行う。	③取組の課題	視察受け入れ開始の曜日及び時間をホームページに掲載しているが、受付開始前に視察申し込みをする自治体がある。
②今年度(H28)に実施した取組	H28年度は年度を通して受け入れたため、視察件数が前年度よりも増えた。	④今後の改善計画	視察受け入れのルールを分かりやすくホームページに掲載をしたい。